

歴史文化遺産を活かした 神埼らしい魅力あるまちづくりを推進します

神埼市では、市内に所在する吉野ヶ里遺跡・九年庵をはじめとする多くの歴史文化遺産を核として、脊振山や市南部地区に見られる農村景観である環濠集落群などの自然・景観資源、産業・食・人物など様々な資源を連携させ、誇りと魅力に満ちたまちづくりを目指しています。

この目的の実現のため、有識者・地元住民・関係機関代表により構成された「神埼市歴史文化遺産を活かしたまちづくり基本計画策定委員会」を設置し、神埼らしい歴史文化遺産を活かしたまちづくりを進めていきます。

5月8日に第1回委員会を、6月12日に第2回委員会を行いました。

策定委員（敬称略）

- 委員長
高島 忠平（佐賀女子短期大学学長）
- 副委員長
藤永 正弘（千代田アサザの会会長）
平山 宏（神埼郷土研究会会長）
- 委員
宮島 敬一（佐賀大学経済学部教授）
五十嵐 勉（佐賀大学農学部准教授）
宮地 武彦（佐賀民話の会会長）
森 周蔵（西九州大学非常勤講師）
山口美由起（みゆき設計室）
田中 道昭（元脊振村史編纂委員）
倉谷 勝英（脊振町岩政倉今区長）
島 富士男（神埼町観光協会会長）
富永 数馬（神埼町の区長）
北川 信幸（下村湖人生家館長）
井村 久行（国営吉野ヶ里歴史公園事務所長）
七田 忠昭（佐賀県教育庁社会教育・文化財課参事）

審議内容について、情報と認識を共有したまちづくりを推進するため、市民の皆さまにお知らせします。

◆第1回委員会要旨

【市長あいさつ】

神埼市の活性化を図るため、神埼市の歴史遺産を大いに顕彰し、まちづくりに活かしていきたい。多くの方々に訪れていただき、日本の歴史を学んでもらい、さらに自分たちの地域の歴史に関心を抱く契機となるようなまちづくりを展開していきたい。

○議事

基本計画策定の方向性について

【各委員からの意見】

- ・上位計画との整合性を持たせなくてはならない。本計画を実現するためにはどのような制度があるのかを出し、実現性の裏づけが必要。博物館というイメージは、堅い。前面に出すぎると市民は馴染めない。人の中に入れていくような計画してもらいたい。
- ・多くの資源をどのようにストーリーとしてつないでいく

か。そのときの人のつながりや自然の営みが大事。観光資源であるが、まちづくりの資源でもある。

具体的に計画に基づき事業を展開する前提として、何らかの土地利用規制などの誘導が必要。

資源を活用することが前提であり、観光の理想像が盛り込まれなければならない。柱として、観光を出すべき。

多くの地域資源が存在するのであれば、面として景観的な保全を図る必要がある。

どういうまちづくりをするのか、共通理念を市民の方と共有化されることが第一。

歴史だけのストーリーでは人は動かない。遺産がある一定の地域内で人は動く。

平行して重要な計画が進められており、計画間の整合性が必要。本委員会の考え方を、関連する計画に盛り込んでいく方向で進めてもらいたい。

◆第2回委員会要旨

【市長あいさつ】

神埼にいくつもある歴史遺産についてどのように整備するのか、審議していただき、反映できるような形で計画・プランというものを見ながら進めていきたい。歴史の土壌をどれだけ活かせるか、何をポイントとして輝かせるのか。知的な感動を受け、そういう学ぶ観光地、歴史の町にしたい。眠っている歴史資源をどのようにして磨きができるのか、その辺を教えてください。

○議事

まちづくりの方向性と基本計画の在り方について

【各委員からの意見】

- ・歴史のまちづくりということになると、新たな価値、まちづくりのための素材や物、要素を市民に提供して、それに対する取り組みのあり方、またそこへ市民の人たちをどう導くか。
- ・神埼市自体がもうすでに博物館。市民が、それを守っていくため、また外部に知らせていくための学芸員になれるかどうか。
- ・歴史を勉強するという視点も含めた形で観光のまちづくりと考えた方がいい。神埼市の



歴史文化遺産を、点から線、さらに面へとつなげ、「人づくり」「まちづくり」を同時にやっけていくというやり方で、地域のリーダーがどれだけいるかで、地域の活力が違ってくる。

総合計画とこの歴史文化遺産を活かしたまちづくりとはどう絡み合っのかが課題。まちづくり全体に関わるとすれば、新しい情報をどう出していけるかが必要。

水をどう活かすかが、神埼市の「歴史的な位置づけ」「まちづくりの基本」ではないか。知的な感動を持たないと観光にならない。情報をきちっと与えないと知的な感動にならない。町中博物館というイメージでいくと、文化財や文化資源の考え方・概念を変える必要がある。神埼市独自の文化に対する認識を出すことも必要。

資源をどう活かしていくかというの、この委員会の議論するテーマ。その中で、人が関わっていく運営面も併せて考えていけなない。

市民との関わりが重要。自分の足元の歴史文化を知り、他所からこられた方へ説明ができる。人づくりそれが一番大

事ではないか。

神埼市の史跡・遺跡・伝統的な祭りとか、そういった主だった観光資源になるようなものとかの地図が必要。

神埼のひとつの特徴は、地名、それを活かしていただきたい。そのため、人を作る。広く行渡るようにする。それが最初の仕事。

田園風景が神埼の財産。単に現状のままお金を出して管理していくという考え方はいけない。実情にそつような環境にやさしく住みよいまちづくりと絡めて、総合的にうまく組み立てていく方向性・考え方というのを持っていく必要がある。

神埼市の50年先を見据えて歴史のまちづくりをしようという、基本的な戦略に立ったほうがいい。生きている歴史のまちづくりをしないといけない。人づくりが一番大事になると思う。

この委員会で審議された内容については、随時、市報・ホームページで公開をしていきます。

◎問い合わせ先
神埼市役所 市長公室
☎ 3710102

感染予防の基本は、まず“手洗い”

手洗いの手順を確認して、キッチンと手を洗いましょう！

<p>まず、確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ●爪は短く切りましょう。 ●指輪やピアスは外しましょう。 <p>次に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ●手首の上5cm位まで十分に両手を濡らしましょう。 ●洗剤剤を手首のひらに取り、十分泡立てましょう。 	<p>1 手のひらをあわせてよくこする。</p> 	<p>2 手の甲をのばすようにこする。</p> 	<p>3 指先、爪の間をよく洗う。[両手]</p> 
<p>4 指の間を十分洗う。</p> 	<p>5 指先と手首をねじり洗います。(親指をもう片方の手で包みこする。)[両手]</p> 	<p>6 手首も忘れずに洗います(両手) 指先を上に向けて流水で洗い流す。</p> 	<p>7 最後に...ペーパータオルか清潔なタオルで拭きましょう。</p> 

★30秒以上しっかり洗ってください。

新型インフルエンザ情報

6月27日、神埼市内において新型インフルエンザ患者が確認されたことに伴い、新型インフルエンザ対策会議を行い、全戸にチラシを配布し、予防方法の周知を図りました。

7月21日、「佐賀県新型インフルエンザ対策本部」の解消に伴い、神埼市においても新型インフルエンザ対策本部を一旦解消します。

今後は、通常体制の中で新型インフルエンザに関する情報収集を行うこととし、ウイルスの変異や感染者の急激な増加など状況の変化があった場合に、再度、対策本部を設置する予定です。

◆一般医療機関で受診できます

新型インフルエンザの感染が疑われる場合、感染拡大を防ぐため、感染症指定医療機関に設置した発熱外来での受診をお願いしていましたが、県内でも感染拡大期に移行し、今後患者の増加が見込まれることから、一般医療機関でも外来診療を行うことになりました。

○受診方法
かかりつけまたは近くの医療機関へ電話して、受入態勢を確認のうえ、マスクをするなど医師の指示に従って受診してください。
重症者を除いて、自宅療養となります。

◆発熱コールセンターの役割・受付時間が、変わります

発熱コールセンターでは、発熱外来への案内は行わず、一般医療機関の紹介、新型インフルエンザに関する情報提供、一般的な健康相談を実施します。

○電話番号
☎ 0120-8211025

○受付時間(平日のみ)
午前8時半から午後5時15分まで
時間外は、録音での対応(受診方法の案内等)となります。

◎問い合わせ先
神埼町保健センター
☎ 5111234

